

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [ワーク・ライフ・バランスについて②](#) | [働き方は「生き方」の時代](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

ワーク・ライフ・バランスについて② 働き方は「生き方」の時代

働き方は「生き方」の時代 → 人間らしい働き方を求めて

そのためには、社会の仕組み・労働の仕組み・意識の変革が必要です。
直接的な労働（特に労働時間の活用）にのみ求めても、労働及び労働時間を費やす周辺の環境が整備されていなければミスマッチをうみ、逆に混乱の基になります。

ワーク・ライフ・バランスの実現のためには

基本的方向

1. 企業

企業は企業の社会的責任・役割・使命を自覚した経営が必要です。

企業理念（戦略）に組み込んだ活動が必要となります。

CSR（企業の社会的責任）を具体化することです。

その為には、

1. 経営活動を通しより良い社会を創造すること。
 - ①社会貢献活動（各種ボランティア・フィランソロピイ）
2. 社会の公器としての責任を果たすこと。
 - ①情報公開（説明責任）。
 - ②法令順守。
3. 社会が抱える課題への取組み。
 - ①環境問題。
 - ②ワーク・ライフ・バランス。

2. 労働者

労働者は生活（人生）に対する意識改革が必要となります。

今、環境問題から生活のあり方に警鐘がならされ、循環型社会への対応が余儀なくされています。同じように、ワークライフバランスを実現するために、

1. 仕事の適正化をはかること。
 - ①業務の適正量及び、能力伸張による量・質の適正化。
 - ②労働時間の適正化。
2. 健康と自己啓発
 - ①健康増進こそ生産性向上の基本。
 - ②趣味・教養による人間性の向上を図る。
 - ③キャリア開発。
3. 家庭生活
 - ①子育て・家族団らん、による愛情の育み。
 - ②思いやりや協調的関係性の醸成。
 - ③親子の憩いの場としての再生。
4. 社会生活
 - ①社会貢献・ボランティア活動。
 - ②主体的な生き方創造。

3. 政府・行政

社会（国・行政）は、環境整備に力を注ぐこと。

ビジョン（目標）の合意形成を行い

- ①ステークホルダー間の調整を図る。
- ②国民的コンセンサスへ情報提供を徹底する。
- ③ワークルールの適正化を図る。
- ④制度変更・新設に伴う周辺の社会システムをこれを基盤に構築する。

>>一覧へ戻る

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.